ＴＫＣ東京都心会
2017.1.18

～東京税理士会認定～

財務諸表の概念フレームワークからキャッシュ・フローと経営を再考する　～さおだけ屋はなぜ潰れないのか？～ を開催しました

平成29年1月12日（木）於：ＴＫＰ市ヶ谷カンファレンスセンター

ＴＫＣ東京５会（東・東京会、東京都心会、東京中央会、城北東京会、西東京山梨会）では、東京税理士会より認定をいただき、年間11回の研修会の開催を予定しております。（本研修は城北東京会が担当）

平成28年度第７回目の研修を１月１２日（木）に公認会計士・税理士の山田 真哉氏（一般財団法人芸能文化会計財団理事長）を講師にお迎えし、「財務諸表の概念フレームワークからキャッシュ・フローと経営を再考する～さおだけ屋はなぜ潰れないのか？～」と題して開催し、１３３名（当会は２５名参加）の税理士が参加しました。

山田 真哉 氏
公認会計士・税理士
（一般財団法人芸能文化会計財団理事長）

テーマ：財務諸表の概念フレームワークからキャッシュ・フローと経営を再考する
～さおだけ屋はなぜ潰れないのか？～

講師　：公認会計士・税理士 山田 真哉 氏（一般財団法人芸能文化会計財団理事長）

聴きどころ　『さおだけ屋はなぜ潰れないのか？』で書いたのは、つまるところ、利益を出すには売上増かコストダウンの2つしかない、という会計のシンプルな法則。そして「負債」「資本」「費用」「収益」という目に見えない概念をどう理解し、どう活用すれば企業活動や家庭生活に会計が寄与できるかというテーマでした。

本講義では、これらに加え、近年さらに重視されているキャッシュ・フローとその経営についても現状を整理し、新たな視点で再考しました。

司会：川名 亘司
(城北東京会)